

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2010-187510(P2010-187510A)

【公開日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2009-31379(P2009-31379)

【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 2 H 7/18 (2006.01)

G 0 1 R 31/36 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/00 S

H 0 2 H 7/18

G 0 1 R 31/36 A

H 0 1 M 10/44 P

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月5日(2011.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

よって、二次電池を複数個直列につないだバッテリーの保護回路装置は二次電池の個数が増えることによる回路の増大だけではなく、その回路を構成する半導体素子 1 つ 1 つのサイズが大きくなるために、保護回路装置全体のサイズの増加量が電池の個数の増加に比例せず、それ以上に大きくなる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

以上のように、複数の二次電池を直列につないだバッテリーの保護回路装置の面積の増加量は電池の個数の増加に比例せず、それ以上に大きくなる。半導体装置において、面積の増大はコスト増大に直結する。よって、バッテリーの保護回路装置を安価に提供できないことになる。本願に係る発明は、複数の二次電池を直列につないだバッテリーの保護回路装置を構成する場合に、電圧の増加に伴う保護回路装置の面積の増加を抑制することが可能となる回路を構成することをその課題としている。